

## 2025年ロ・バルネチェア区コミック・漫画フェア

2025年4月16日

4月5日（土）、在チリ日本国大使館は、ロ・バルネチェア区文化財団がエル・トランケ文化センターにて開催した第4回「コミック・漫画フェア」に参加しました。同イベントは4月が「本の月間」であることにちなみ、読書、コミック・漫画、グラフィック・ノベルなど多様な表現形式の推進を目的として開催された家族向けイベントです。



今回のマンガ・フェアでは日本が特集され、初日のオープニングでは、日本を代表する漫画家・鳥山明氏の追悼として、「ドラゴンボール」のテーマ音楽のコンサートから幕を開けました。同コンサートは、ロ・バルネチェア青少年オーケストラとソプラノ歌手バレリア・セヴェリーノ氏により演奏され、日チリだけでなく世界中で愛されているドラゴンボールの楽曲を、子どもから大人まで皆で楽しむ機会となりました。



ドラゴンボールへのオマージュ



開会式での大使館挨拶

開会式後、大使館広報文化班は「チリから世界へ：ラウタロと日本国際漫画賞の受賞」という対談に参加しました。本対談では、2023年の第17回日本国際漫画賞で入賞（銅賞）した『ラウタロ』の作者の一人、フェリペ・ベナビデス氏と共に、チリのアーティストたちによるマンガへの関心の高まりと、受賞が彼らのキャリアに与えた影響について語りました。



対談「ラウタロ」



来場者の様子

また、大使館は書道体験ワークショップも実施し、参加者は、姿勢、筆の使い方、基本的な筆運びについて学びました。日本の伝統文化の基礎を体験する機会となりました。



書道体験ワークショップ

イベント開催の2日間、来場者は、多数のワークショップやゲーム、対談、コンテストなど様々なアクティビティを楽しみ、様々なブースも設けられました。

日本大使館は、ロ・バルネチェア文化センターと共同で浴衣体験ブースを設置しました。日本の春を背景に来場者が浴衣を着用して記念写真を撮ることができ、人気を博しました。また、日智文化協会も、編みぐるみやちぎり絵などの多様なワークショップを提供して下さいました。



浴衣の試着コーナー



たくさんの来場者が浴衣ブースに並んだ

今年のフェアにおいて、日本の文化と漫画にフォーカスしてくださったロ・バルネチェア文化財団の関係者に心より感謝すると共に、イベントにご協力くださったすべての関係者に御礼申し上げます。マンガや日本文化を通じ、より多くの方々に日本文化に触れていただき、また日本文化を次世代へと繋げていく機会となったことを期待しています。



ミyakumyakkuとコンドリート



ミyakumyakkuのお友達



ドラゴンボールのコスプレイヤー